

コンパクトなまちづくりに向けた住民説明会の開催結果について

●説明内容

周南市立地適正化計画の概要と居住促進区域の素案（別紙のとおり）

●日時及び場所

月日	時間	場所	参加人数
11月7日(火)	いずれも 19時～	久米公民館 講堂	12人
8日(水)		ソレーネ周南 研修交流室	3人
9日(木)		熊毛公民館 大会議室	8人
10日(金)		コアプラザかの 大研修室	6人
15日(水)		徳山保健センター 健診ホール	14人
16日(木)		須々万農村環境改善センター 多目的ホール	9人
17日(金)		学び交流プラザ 交流室4	8人
小計			60人
16日(木)	21時～	須々万公民館 講堂	40人

合計 100人

●主な意見

【全般】

- ・人口減少を考えると、現実的には、こういう考え方になるだろう。
- ・現状や計画の方向性を市民、民間事業者にもっと周知を図る方がよい。
- ・都市部の充実が都市全体で重要なのは分かるが、中山間地域等のあり方ももう少し説明をしてほしい。
- ・IT等の普及により商業の形態が変わってきているが、考慮しているのか。

【居住促進区域】

- ・計画策定済みの他市において、居住促進区域を設定後に不動産価値に影響がでているような事例はあるか。

【居住促進施策】

- ・計画だけでは実効性がないので民間も含めた施策が重要。
- ・空き家対策にしっかりと取り組まないといけない。
- ・居住促進区域の区分ごとに、誘導施策に違いがあるのか。
- ・郊外にある老朽化した市営住宅を解体し、都心に福祉施設を併設して建替えた方がよい。
- ・雇用がなければ人口は増えない。企業誘致等も一緒に考えるべきである。

【都市機能】

- ・徳山中心部においても、法務局や税務署といった国の機関は離れた位置にあり、商業も衰退しており、都市機能が不足している。